

飯南町総合教育会議における質疑・意見

- 1 会議内容 令和5年3月23日（木）開催
飯南町教育環境基本方針について報告及び意見交換
- 2 出席者 烏田教育委員、熊谷教育委員、小野田教育委員
塚原町長、大谷教育長、那須総務課長、石飛教育次長
若槻社会教育主事
- 3 令和4年度飯南町教育環境基本方針について（教育委員の質疑・意見）

【質疑】 予算面でなく、子どもにとっての教育環境を優先的に考えるべきと考えているが、飯南町の場合、予算（経費面）の状況はどうか？

⇒ 学校運営に必要な予算は、学校数に応じて国から配分される地方交付税に算入されている。しかし、突発的な修繕などを考えると必ずしも十分ではない。

【意見】 教員時代に複式学級を担当した経験から、児童が少ないから子どもが育たないわけではないと思うし、リーダー育成や学力育成に不利な面ばかりではない。

ただし、人数が学年で1人とか2人とか少数になると、子ども同士でたくましく育つという意味では課題があると思う。

【意見】 教員時代に、教頭担任（極小規模校）の学校を経験したが、これは学校運営上、大変に厳しいものがあつた。

【質疑】 検討委員会の方針は、この2年間で、どこまでを検討して答申を出すのか？

⇒ まず、全体の流れとして①基本方針②基本計画③実施計画の3段階を想定している。

令和5年度末に基本方針の答申が提出されるが、そこには

今後の飯南町にふさわしい教育環境の理念、小中学校の配置や規模などを示すよう検討が進められている。

【意見】 小規模校の良さも実感しているが、子育てしてきた経験からすると、あまりにも少人数の中で成長することのマイナス面のほうが大きいような印象を持っている。

そうなると統合も視野に入れた検討が必要かと思うし、子どもたちにとっても充実した学校生活を送れるのではないかと感じる。

保護者からは、学校施設の老朽化を心配する声も聞いたことがある。

【質疑】 答申の全体構成として、学校の適正配置まで踏み込んだ内容となれば、保護者のみならず広く住民の意見も反映するべきだが？

⇒ 今のスケジュールでは、6月下旬までに答申案を作成し7月8月に学校区ごとの説明会を開催して保護者や住民の意見を聞きたいと考えている。

そこでは色々な意見が出ると思うので、それを踏まえて答申を仕上げていきたい。

【意見】 定住者向けの八神里山住宅の構造が子育てに向いていないと感じる。

【意見】 これまでの説明や委員の皆さんのご意見からすると、やはり早い段階で「あるべき姿」に進めていただきたいと感じる。

【意見】 中学校について集団の部活動が成り立たなくなるという現実があるので、中高一貫教育として高校に近いところに中学校を配置するなど、大胆な発想も必要かもしれないと思う。
これは、あくまでも個人的な意見です。